

発言No. 18

受付No. 15

令和7年6月12日

10時18分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16番

氏名 芦谷英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、市政の推進態勢について

- ① 市長は行政連絡員会議、地域協議会、地域の日、連合自治協議会との協議などに出席し、そこでは市政推進に対する意見、地域の要望などが出されるが、それをどのように受け止め、どう市政推進につなげてきたのか。
- ② 市民から市長直行便が寄せられ、市民の生活、市の政策、政治的なことなどがあると思うが、それらに対する市長の考えはどうか。

2、浜田市の元気づくりについて

- ① 市の元気づくりには人出を増やし、消費を拡大することが重要であり、産業振興の基本は外貨を稼ぐこと、とされているが、県の統計では、織物・衣服・身の回り品、飲食料品などの年間商品販売額は、浜田市は県内8市、石見4市の中ではどのような状況、位置にあるのか。
- ② 石見神楽、特産品や食、アクアスと海、歴史や文化など、具体的な観光商品化を進める、民間事業者の支援、行政の体制づくりなどもっと力を入れる必要があるのではないか。

3、定住施策の推進について

- ① ここ10年間で誘致した事業所、企業数などはいくつあって、その数の推移と働く人の推移はどのようなになっているのか。
- ② ここ10年間で地域おこし協力隊は、何人任命し、現在でも浜田市に在住している人は何人おられ、定住は進んでいるのか。

4、市民の健康づくりについて

- ① 国民健康保険の特定健診の受診率、要特定保健指導者数及び率、その終了者数及び率はどのようなようになっていて、その推移からみて健康づくり施策の成果は上がっているのか。
- ② 地域で健康づくりに取り組めるよう、まちづくり推進委員会の事業に位置付け、まちづくりセンターなどで、地域が主体となって健康づくりに取り組む体制づくりが必要ではないか。

5、高齢者の生活支援、介護サービスの充実について

- ① 生活支援体制整備事業のサービスを受けた方の推移はどうなっているのか、直営になって充実してきているのか。
- ② 訪問入浴介護サービスの利用が断られるとの市民からの声が寄せられているが、実情はどのようになっているのか。
- ③ 介護事業所から介護人材が不足しているとの声が寄せられているが、市として不足している人数をどのように把握しているのか。

6、協働のまちづくりの推進について

- ① 町内会加入率は、新聞報道によると令和5年度84・1%とあるが、5年度以前の加入率は、経年的にどのように推移してきたのか。
- ② 協働のまちづくり推進は、連合自治会、地区社会福祉協議会、自主防災組織などが個別にあるのではなく、まちづくり推進委員会に収れんさせる、あるいは関連づけるなどが必要であるが、協働のまちづくりを進める市が責任をもって、市が一体となってその推進体制をつくる必要があるのではないか。

—以上—